

- **定点方式による自然環境モニタリング調査とその結果**
- ローリング方式による自然環境モニタリング調査とその結果
- 前回審議会を踏まえた開示の検討
- 自然環境モニタリング調査の開示案

# 01 | 定点方式によるモニタリング調査

## 定点調査

### 目的

野生生物の生息・生育状況の推移を把握するための調査

### 対象地域（重要生態系94地域から選定）

重点的に調査すべき**5地域**

### 調査対象

**R4 植物**

R5 哺乳類、鳥類、爬虫・両生類

R6 魚類

R7 昆虫

### 調査機関

(株)総合環境計画岡山事務所（R4年度）

※委託契約



## 02 | 調査結果（対象地域ごとの確認種数）

	藤ヶ鳴	瓜生川	龍王山	操山	奥迫川
哺乳類	-	-	-	-	-
鳥類	-	-	-	-	-
爬虫類	-	-	-	-	-
両生類	-	-	-	-	-
<b>維管束植物</b>	<b>336</b>	<b>345</b>	<b>316</b>	<b>122</b>	<b>334</b>
<b>コケ植物</b>	<b>67</b>	<b>58</b>	<b>61</b>	<b>29</b>	<b>34</b>
魚類	-	-	-	-	-
昆虫類	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-

R5年度調査予定

R6年度調査予定

R7年度調査予定

合計 **847** 種

## 03 | 調査結果（希少種）

### 確認された希少種※

非開示



ヒメミクリ  
岡山県レッド 絶滅危惧Ⅱ類  
環境省レッド 絶滅危惧Ⅱ類



イチョウウキゴケ  
岡山県レッド 準絶滅危惧  
環境省レッド 準絶滅危惧

※岡山県版レッドデータブック2020、  
環境省レッドリスト2020掲載種

- 定点方式による自然環境モニタリング調査とその結果
- **ローリング方式による自然環境モニタリング調査とその結果**
- 前回審議会を踏まえた開示の検討
- 自然環境モニタリング調査の開示案

# 04

## ローリング方式によるモニタリング調査

### ローリング調査

#### 目的

野生生物の生息・生育状況を把握するための調査

#### 対象地域（重要生態系94地域から選定）

これまでに野生生物の調査が十分に行われていない地域（年度ごとに設定）

#### 調査対象

動物、植物（対象地域ごとに設定）

#### 調査機関

（公財）岡山県環境保全事業団

※連携協定締結



05

# 調査結果（対象地域ごとの確認種数）

	志呂神社	徳蔵神社	母谷	紅岸寺	真星川	宝伝
哺乳類	3	2	1	0	0	0
鳥類	18	19	22	26	4	16
爬虫類	6	1	3	1	2	0
両生類	4	1	6	1	4	0
維管束植物	286	131	274	114	131	61
コケ植物	-	-	-	-	-	-
魚類	3	-	2	-	4	-
昆虫類	126	47	161	41	146	53
その他	25	9	25	8	18	11

合計 **1,138** 種

## 06 | 調査結果（希少種）

※岡山県版レッドデータブック2020、環境省レッドリスト2020掲載種

確認された希少種※

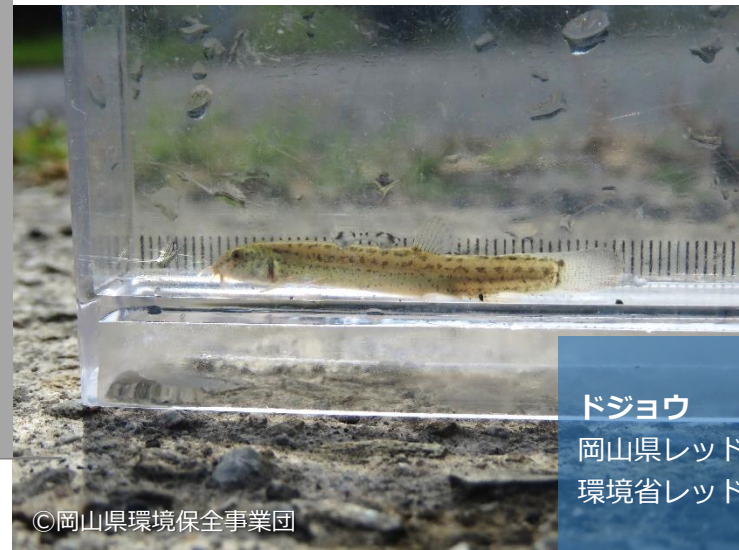
非開示

※岡山県版レッドデータブック2020、  
環境省レッドリスト2020掲載種



©岡山県環境保全事業団

チトセカズラ  
岡山県レッド なし  
環境省レッド 絶滅危惧Ⅱ類



©岡山県環境保全事業団

ドジョウ  
岡山県レッド 準絶滅危惧  
環境省レッド 準絶滅危惧



- 定点方式による自然環境モニタリング調査とその結果
- ローリング方式による自然環境モニタリング調査とその結果
- **前回審議会を踏まえた開示の検討**
- 自然環境モニタリング調査の開示案

## 07

# 前回審議会を踏まえた開示の検討

### 種名リストの開示

- モニタリングスポットごとではなく**市全域**での開示か検討
- 岡山県レッドデータブック掲載種に加え、**環境省レッドリスト掲載種**についても取扱いを検討

### 位置情報の開示

- 確認場所の位置情報は**非開示**
- **市民が関心を持てる**情報発信方法を検討

- 定点方式による自然環境モニタリング調査とその結果
- ローリング方式による自然環境モニタリング調査とその結果
- 前回審議会を踏まえた開示の検討
- **自然環境モニタリング調査結果の開示案**

## 08 | 調査結果の開示案①

### 種名リスト

方式ごとの確認種（市全域）を一覧表にて開示

環境省レッドリストの追加

大分類	科名	種名	岡山県RDB 2020	環境省RL 2020
-----	----	----	----------------	---------------

非開示

## 09 | 調査結果の開示案②

### 確認種数

モニタリング地点ごとに確認種数を開示



# 10 | 調査結果の開示案③

## 外観・特徴写真

代表的な位置での写真を開示

➡経年変化が分かるよう同じ画角で撮影



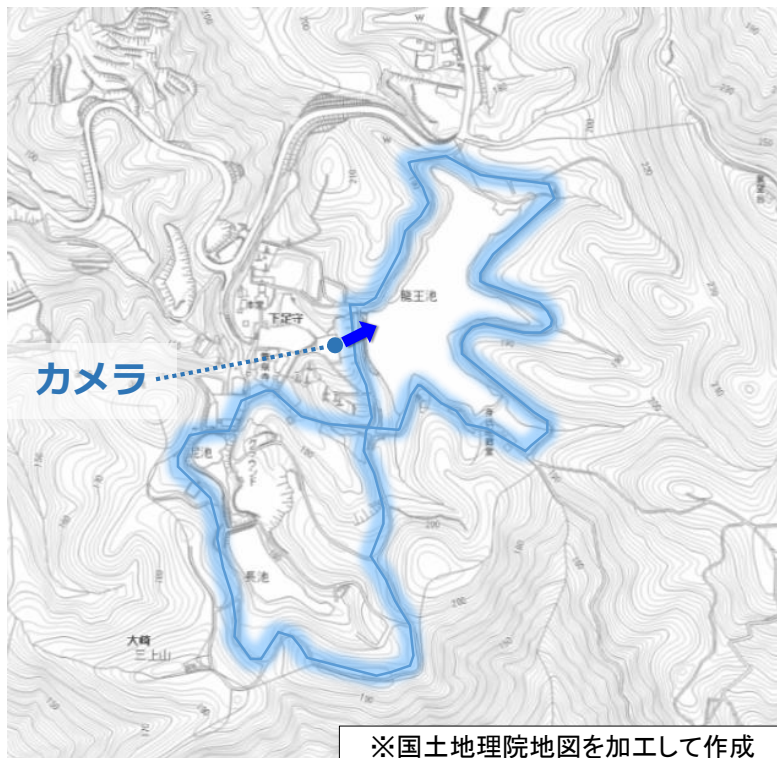
1年目



2年目



3年目



# 11 | 調査結果の開示案④

## 重要種の紹介

調査で確認された希少種の写真に、簡単な解説を加えて開示  
位置情報は非開示

©岡山県環境保全事業団



### ハチクマ

夏鳥として、渡来して山地の樹上に巣を作ります。  
秋になると集団で飛行し、インドネシア付近で冬を過ごします。ハチを主食としている鳥です。

分類／タカ目タカ科

全長／57cm

翼開長／121～35 cm

分布／九州から北海道までの丘陵地など

食べ物／クロスズメバチ

### トノサマガエル

4月から6月に頃に水田やみずたまりなどで産卵が行われ、卵は1,000～3,000個の卵塊として産み付けます。主に水田や池に生息しています。

分類／無尾目アカガエル科

全長／60～90 mm

分布／関東地方から仙台平野を除く本州など

食べ物／昆虫など



©岡山県環境保全事業団

# 12

## 審議事項

01

調査結果に関する疑義や今後の展開など  
についてのご意見

02

08~11 調査結果の開示案 についてのご意見